

市の「公共調達」について

稲垣 茂行

(問) 公共調達に対する市の基本的考え方は。

(答)総務部長 現行法令を順守し、適切な積算と価格で発注することで、工事等の品質を確保することが必要と考える。

(問) 公平・公正な入札・契約制度をどう確保しているか。

(答)総務部長 談合の予防、排除については、電子入札制度を導入するとともに、平成24年4月より一般競争入札対象工事を5千万円から3千万円へ拡大した。また、不適正な積算の予防は、事業者に積算価格の根拠となる内訳書の提出を求めている。さらに、平成23年度からは予定価格を事前公表から事後公表に改め、事業者が最低制限価格を類推することが困難となり、積算の妥当性向上に繋がっている。

(問) 品質確保は。

(答)総務部長 国・県の積算基準書や単価で積算し、今年度から、変動型最低制限価格制度を導入した。

(問) 市公共調達条例の制定は。

(答)総務部長 調査研究する。

(問) 人材の育成が必要では。

(答)市長 日本一のまちづくりのため、職員の研修と採用を通じ、質の向上を図っている。

イヌとヒトが笑顔で共存できる吉川市に

安田 真也

(問) 狂犬病予防接種の接種率についての見解と、接種率向上に向けた取り組みは。

(答)市民生活部長 過去5年間の当市の接種率は69・4%であり、接種率向上に向けた取り組みは必要と考えている。集合注射会場の設定時には、駐車場の広い市役所及びおあしすを必ず土曜日に設定、今年度からは新たに美南中央公園を加え、会場を15ヶ所とし接種機会の拡充を図った。この他、ハガキによる通知とともに、広報よしかわや市HPにおける啓発を行っている。

(問) 他市では、市HPにおいて、予防接種の出来る動物病院一覧を掲載している事例もある。更なる向上にはそのような手段も必要。市として、HPに動物病院一覧の掲載を

してはどうか。

(答)市民生活部長 今後、獣医師会や狂犬病予防協会と相談し、掲載が可能か検討したい。

(問) 鑑札や注射済票をデザイン性のあるものにできないか。

(答)市民生活部長 今後変更の機会があった場合、鑑札・注射済票合わせて一緒に検討していきたい。

生活道路・水路の改修要望の早期実施をすすめよ

小林 昭子

(問) 川端「新きぼり」改修は。

(答)市民生活部長 掘削による成型や危険箇所を補修を進めるため、9月補正で委託料、工事請負費を計上した。委託料は水路断面を決定し、計画的に整備を進める為の調査が主な内容で、工事請負費は新きぼりの土留め工事を1000m進める予定である。

(問) 江戸川堤下の市道改修は。

(答)都市建設部長 三輪野江常磐道付近、三輪野江2190番地付近を補修する。

(問) 土場369―2地先く三輪野江バイパスまでの市道改修は。

(答)都市建設部長 すでに補修を済ませており、全面補修は今後劣化状況を踏まえ改修。

(問) 三輪野江189地先市道改修は。

(答)都市建設部長 9月補正で計上。3月までに補修する。

(問) 加藤16地先、275―2地先の市道改修は。

(答)都市建設部長 地域のバランス、劣化状況を見る。

(問) 大字富新田22―15、30―1北側水路改修を。

(答)市民生活部長 土水路でも利用できる水路は多くあり、地域と調整し対応する。

災害から市民の生命と財産を守るための取り組みを

遠藤 義法

(問) 東日本大震災の教訓をどう市の地域防災に活かすのか。

①東日本大震災からの課題は。②避難場所へ向かう途中のブロック塀倒壊箇所、危険物施設の把握と住民への情報提供は。③阪神淡路大震災からの教訓は、一般住宅の耐震化をすすめることであり、対応は。家具転倒防止金具設置の実施は。④災害時に要支援者を手

助け、救助する計画は。

(答)市長 帰宅困難者や広域災害などから避難者の受け入れなどの対応が必要で平成24年度中の見直しをしている。

(答)市民生活部長 避難経路を把握しすすめている。ブロックの危険箇所の把握はこれからで、危険物施設は消防署と連絡をとりすすめていく。

介護認定者や障がい者など約1万人の対象者の中で2千796人の方に登録していただいている。支援計画は自主防災組織や民生委員と協力しながら今後もすすめていく。

(答)都市建設部長 ②については住宅の耐震化率90%を目標に、密集している旧平沼地区、栄町・保地域の耐震化をすすめるため、地区計画で位置付けしながらすすめていく。



地震や洪水の災害に関する情報をまとめた「吉川市防災マップ」